



先端技術実装へ包括協力

インドネシア ハサヌディン大と覚書

OCG

オリエンタルコンサルタンツグローバル（OCG）は、インドネシアのハサヌディン大学との包括的な協力に向けた覚書（MOU）を交わした。同大学が計画するサイエンスパークを含む東部インドネシアをフィールドに、バイオテクノロジー、衛星技術、陸上養殖、再生可能エネルギーなどの先端技術の研究開発と社会実装、事業展開に向けて協力していく。

同大学は、南スラウェシ州マカッサル市に本拠を置く、東部インドネシア最高学府。11日の調印式ではOCGの米澤栄二社長と、同大学のジヤマルディン・ジョンパ学長が覚書を取り交わした（写真）。

同社は、2008年から19年にかけて、「ハサヌディン大学工学部整備事業」に携わり、キャンパスマスタープランの策定から設計、入札支援、施工監理までを一貫して実施してきた。今後、今回の覚書のもとで同大学関係者などと具体事業実施の合意に向けた協議を進めていく。